

## 災害に備えて

浜松市中区の瑞生寺様では、  
昨年の十月より進めてまいりま  
した水屋と多目的トイレ兼倉庫  
の建築工事が完成いたしました。  
二月十一日には総代さんと少数  
の檀家さんが参列して落慶式を  
行いました。毎年行われている  
虚空蔵菩薩大祭と大般若経の祈  
禱に合わせて落慶法要が行われ



ました。またトイレの仏様である鳥椋  
沙摩明王の開眼法要も執り行われま  
した。今回の工事では参道も整備されお  
墓参りの方にも使いやすくなりました。



桶棚と休憩用のイスも備えられました

そして倉庫にはいつ起こるかかわから  
ない地震や自然災害に備え、避難だけ  
でなく災害ボランティアの活動拠点と  
しても活用できる設備や防災用品を備  
蓄し、井戸水の確保やAEDの設置を  
含む地域に根づくお寺のあり方を構築  
されています。ご住職は十年前の東日  
本大震災の復興ボランティアで活動し  
た経験があり、お寺に避難してきた被

災者がいたことなどをふまえて、本堂  
の耐震工事などを計画的に進めてきま  
した。このような自然災害に対する日  
頃の準備と心構えが、減災につながる  
のではないのでしょうか。



昨年行った本堂の瓦葺き替えにより  
降ろした鬼瓦を記念碑として設置い  
たしました。これまで屋根の上で長  
い間見守ってくれましたが、これか  
らは参道の脇にて瑞生寺様と檀家の  
皆様を見守ってくれることと思いま  
す。